

第198回理事会が開催されました。

12月2日（木）に第198回理事会が静岡市内の中島屋グランドホテルにおいて開催されました。主な議題は、報告事項としてオンライン資格確認の運用開始、健康保険制度の一部改正や事業状況について、審議事項として令和3年度の予算執行状況・決算見込み、令和4年度の保健事業や保険料率について審議されました。

健保組合を取り巻く環境は依然として厳しい状況であり、保険料収入の伸び悩みや平成20年度から始まった高齢者医療制度への支援金・納付金等の過重な負担から全国の健保組合の3割が赤字決算となっています。当健保組合の財政状況は、前年度より医療費は減少傾向ですが、支援金・納付金とも増加しており依然厳しい状況となっています。今後も加入員の皆様の健康保持・増進を図るため精一杯努力をしていく所存ですので何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

非常事態 **医療費増大** 医療費の節約にご協力をお願いします。

皆様には保険料を有効に活用していただくため、必ず、年度に一回は健康診断を受け、生活習慣病の早期発見・早期治療につとめていただくようお願いいたします。

また医療機関等に受診する際は、新薬と同じ成分・効果で薬代の節約ができるジェネリック医薬品を積極的に利用するなど医療費の節約に引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

花粉症対策2022 春の花粉飛散予測

東海地方は例年比やや少なく・前年比やや多い飛散に 花粉症は早めの対策を

いよいよ花粉症のシーズンがやって来ます。2月上旬頃から徐々に花粉飛散量が増えていきますので早めの対策をとりましょう。毎年花粉症で悩む方は、スギ花粉が飛散する1～2週間前から対策しておくのがおすすめです。症状が出る前に薬の服用を開始する「初期療養」は、症状が出てから薬を服用する「導入療法」に比べ症状が出る時期を遅らせたり、症状を軽くすることができます。花粉を近づけない、花粉に近づかない行動が花粉症シーズン対策の基本です。体調管理も花粉症への抵抗力をアップさせるため有効です。今年も早めの対策で準備を万全にしておきましょう。

花粉症の薬にもジェネリック医薬品を

ジェネリック医薬品には花粉症に効く薬もあります。花粉症の場合、薬を使用する期間は年間でも数か月におよびます。家族のうち数人が花粉症の薬を服用している場合は薬代もかさみます。医療費の負担を減らすためにもジェネリック医薬品に切替え薬代を節約しましょう！

インフルエンザ予防接種の補助を行っています。

健保組合ではインフルエンザの発症予防を図るため、10月から翌年3月までに予防接種を受けた被保険者及び被扶養者の方を対象に一人につき千円の補助を行っています。この機会にインフルエンザ予防接種を受けましょう！詳しくは「インフルエンザ予防接種補助実施要領」又はホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症 予防と感染拡大を防ぐため私たち一人一人にできること

各国で新たな変異株であるオミクロン株による感染症の流行が懸念されています。感染力が強い変異株にも基本的な感染予防策が有効です。「マスクの着用」・「手洗い」・「3密回避」を徹底しましょう。

1. マスクの着用 鼻だしマスク×、あごマスク×、着けたら外側は触らない、ひもを持って着脱
2. 手洗い 共用物に触った後、食事の前後、公共交通機関の利用後など、指・爪の間・手首も忘れずに
3. 3密回避 密接（マスクなし×大声×） 密集（大人数×近距離×） 密閉（換気が悪い×狭い所×）

12月も中程に差し掛かり今年も残すところあと少しとなりました。今年一年、当健保組合の事業運営につきましてご理解・ご協力をいただきありがとうございました。来年も特定健診・特定保健指導をはじめとした当健保組合の事業を積極的にご活用いただき、健康管理・健康づくりに取り組んでいただければ幸いです。